

平成 26 年度 事業計画

平成 26 年度事業計画の概要

今年度は公益法人後 3 年を迎え、不特定多数を対象とした公益事業の推進とその充実を図る事を重要課題とする。そのため、管理栄養士・栄養士の育成事業は、基幹研修、拡充研修ともに専門職業人としてキャリアアップを図り高度な専門知識・技術の習得を目指すことに重点を置き、県民の健康増進、疾病予防、疾病の重症化予防等の達成と正しい知識の普及と実践への支援を進める。さらに栄養の指導や支援を通して県民の個々の健全な食生活を支える地域社会作りと公衆衛生の向上に寄与する事業の展開を計画した。

1. 栄養の科学と技術の振興事業

本事業は、県民の健康・食事の実態等と栄養指導・食事療法に関する調査・研究・技術開発、郷土料理の研究と料理・献立の創作等による食文化の発展的承継に資する活動、および、県等の健康政策立案への貢献などを通して、食と栄養の科学及び実用技術を振興させる事業である。

今年度の事業は以下の通りである。

・第 40 回福岡県栄養改善学会

公衆栄養、栄養指導・食事療法（栄養管理）、介護予防、在宅支援に関する調査研および業務上で成果があった事例や施設における新しい試み（実践）など、昨年（11 演題）を上回る演題発表を目標に開催する。

2. 県民の健康づくりの担い手となる人材の育成

本事業は、県民の QOL の向上、健康寿命の延伸を目的に、県民が質の高い栄養指導及び食事療法を身近に受けることができるように、本事業は高度の専門的スキルとともに、一人ひとりのかけがえのない命を尊び慈しむ姿勢を身につけた管理栄養士・栄養士を輩出するために各種の研修等に取り組むものである。事業の柱は、生涯教育制度として実施される諸種の研修事業であり、基幹研修事業と拡充研修事業とからなる。

今年度の事業は以下の通りである。

（1） 基幹研修事業

卒後教育の基幹研修は、すべての管理栄養士・栄養士を対象として実施し、専門職業人としての強靱な基礎知識を身につけさせることを目的とする。

・生涯学習研修会

専門職業人として、日々進歩する医学・栄養学に立脚した「根拠に基づいた栄養管理」「栄養の指導」や「栄養管理の実施・モニタリング・評価・管理記録」などの必要不可欠な基礎知識を学ぶことができる基幹研修の中軸をなす研修会である。初任者から中堅者を対象に、最新の診療ガイドラインにそった食事療養、栄養管理の基礎を学ぶ場でもある。

今年度の研修内容は、「国民の健康の増進の総合的な推進」「栄養(食物)と医薬品の影響」「栄養スクリーニングと栄養評価（アセスメント）・栄養管理計画」、「対象者の把握・栄養食事基準・食品構成」「献立計画・実施献立・献立評価」「栄養ケアプロセス」「-3 栄養アセスメント・栄養診断Ⅰ・栄養アセスメント・栄養診断Ⅱ」「歴史に学ぶ栄養学と栄養管理」「糖尿病最新の薬物療法と栄養管理」「急性期・リハビリ・療養・在宅ですすめる高齢者の摂食嚥下機能回復に向けたスキル習

得講座」「研究発表のためのスキル習得講座」等である。

この研修会は県内の3地区（福岡、北九州、筑後）で7回開催する。

・支部研修会

各職域に共通した管理栄養士・栄養士の基本的知識やスキルを維持向上するための基本研修として県内の3地区（北九州、筑後、筑後）において3回開催する。

研修内容は「栄養食事指導・栄養管理に活かす臨床心理を学ぶ」「摂食機能に応じた嚥下食と食事形態を極める！」「ライフステージ別 糖尿病治療と栄養管理・食事指導」などである。

・新人研修会

県内の新人（新たに資格を得た者、または就業経験の短い者）を対象に講義やグループ討論などを行う研修会であり、北九州・筑後・筑豊の3地区で開催する。平成26年度は支部においても生涯教育の一端を担う観点から「ベーシック研修～これだけはおさえない！代謝の基本～」「医療監視に必聴！食品衛生監視員による食品衛生管理講義」「栄養素代謝のメカニズム 入門編」

（2） 拡充研修事業(実務研修)（特定職域その他の研修事業）

拡充研修は、基幹研修を補完し発展させるものである。医療・福祉・公衆衛生・研究教育・学校健康教育・地域活動の7職種の業務特性に即した専門性の向上および各種課題に応じた研修会を開催する事業である。

今年度の職域ごとの研修会は以下の通りである。

- ・医療事業部研修会：「臨床栄養実務研修 診療報酬改定のポイント 医療連携」
「病態栄養実践講座Ⅰ 今さら聞けない！病棟における栄養管理に必要なスキル～病態に応じた栄養管理の実践技術セミナー～」
「病態栄養実践講座Ⅱ循環器疾患の栄養管理を極める！」
「臨床栄養実務研修 入院時食事療養と栄養管理関連診療報酬運用時注意点」
「炎症性腸疾患の病態と栄養管理」北九州
「最新！糖尿病治療～病態別治療薬の選択から栄養管理・栄養食事指導まで～」筑後
- ・福祉事業部研修会：「対人関係アップのためのコミュニケーションスキル講座」
「口から食べるための支援を学ぶ」
- ・公衆衛生事業部研修会：「給食における食物アレルギーを学ぶ」
- ・研究教育事業部研修会：「食育と食物アレルギー対策について」
- ・学校健康教育事業部研修会：「集団給食調理技術のスキルアップ研修会」
- ・地域活動事業部研修会：「地域活動栄養士としての基本～有資格者としての特性と役割栄養士業務のあり方①」「地域活動栄養士としての基本～有資格者としての特性と役割栄養士業務のあり方②」
- ・勤労者支援研修会：（平成26年度は、他事業部研修共通研修とする為、今年度はなしとする。）

（3）研修に関わる付随事業

・「病院等栄養管理の基本と実際」の刊行

H26年4月の診療報酬改定に伴い「病院等栄養管理の基本と実際」を10月に改訂予定、研修会での活用、管理栄養士・栄養士への頒布・販売を実施する。

・研修会情報の提供

当会が企画する研修会情報を「研修会案内」として発行し、研修機会の拡大を図る。

・研修会申込みシステム（業務支援システム）の運用

WEB上で研修会情報の確認や申込みが可能な研修会システムの運用を行う。

3. 健全な食生活のための県民の自律の支援

本事業は、生涯を通じた食育や健康づくり、生活習慣病予防等を目的に地域に密着して実施するので、講演会、食生活診断、栄養指導、調理実習、展示等を通して、正しい知識の普及と実践への支援を進める事業である。また、疾病の重症化予防や寝たきり予防、高齢者の低栄養等を改善する介護予防事業及び食事療養を必要とする傷病者への栄養食事指導を行うことによりQOLの向上を高める等、食と栄養の指導や支援を通して県民の公衆衛生の向上に寄与する事業である。

今年度の主な事業は以下の通りである

(1) 栄養ケア・ステーション事業

- ・高齢者食生活改善事業（個別栄養相談・栄養教室）
- ・訪問型介護予防事業
- ・「栄養士会料理教室」の開催
- ・生活習慣病予防等、県民向けの講演会活動

(2) イベントにおける栄養相談事業

・健康21世紀福岡県大会

県民の自主的健康づくりを支援・健康寿命の延伸を旨とし、福岡県と県内の健康づくり関係団体が連携して開催する。今年度は、筑後地区にて開催（11月16日）

・地域健康フェア

市町村・医師会・歯科医師会・地域諸団体との連携のもと、食育推進や生活習慣病の予防・治療について地域住民の意識向上を目指して、16の地域で開催する。

・市民糖尿病教室

糖尿病及び合併症予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、QOLの高い暮らしの実現を目指し毎年、糖尿病週間に医師会、栄養士会、薬剤師会および、糖尿病療養指導士会等との協働のもと、福岡、北九州、筑後、筑豊の4地区で開催する。

・歯の健康教室

口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及、歯科疾患を予防する適切な習慣の定着を目的として7地域で開催する。

(3) 市民公開講座（セミナー）

・食育推進実践セミナー

食育の推進をテーマに、アクロス福岡において、年に12回（毎月第2火曜日）講演を行い、広く県民に対し、食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及を行う。

・県民料理教室

この事業は、県民が料理を通じて食育の実践ならびに郷土の食文化などを学ぶための講習会である。北九州・筑後・筑豊の4地区での開催を計画している。

・健康セミナー

本会および看護協会、診療放射線技師会、臨床検査技師会で構成された福岡県医療団体協議会が公開講座を行う。毎年1回（2月の第3土曜日）開催され、医療に携わる専門家が、県民と一緒に健康増進、疾病の重症化予防をより深く考える機会とする。

(4) 無料職業紹介事業

管理栄養士、栄養士への無料職業紹介を行い、情報の掲示は本会ホームページ及びおよび当会事務局にて行う。

(5) 栄養コミュニケーション事業

・ホームページによる情報コミュニケーション

県民及び会員に当会で行うイベントや栄養ケア・ステーションに関する情報を分かり易く発信する。また、県民に対して地域の食材を取り入れた献立や県内の郷土料理紹介など、地域の食文化について発信を行う。

4. 県民の健康を育む食環境の整備

本事業は県民の健全な食生活の形成に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。この事業は、①栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉及び教育等の分野の各職種や有識者、自治体等の連携・協働関係の構築、②適正な食生活を応援する公共又は民間の諸制度の推進・運用改善の取り組みなどの柱からなる。これは県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

・各種委員会を通じた連携・協働関係の構築

地域住民の健全な食生活を支える食環境を整備するため、これに資する地域基盤の各種委員会や協議会に参画し、その連携と活動の強化により公衆衛生の向上に寄与しようとするものである。

今年度の主な委員会・会議は以下の通りである。

生活習慣病対策検討委員会、いきいき福岡健康づくり、福岡県介護予防市町村支援委員会、全国高等学校総合体育大会実行委員会および専門部会、福岡県医療審議会、ふくおかの食と農推進会議、福岡県学校給食審議会、福岡県歯科保健医療推進協議会、慢性腎臓病予防対策検討部会、食と健康フォーラム実行委員会、福岡市学校給食運営検討委員会、福岡市食育推進会議、北九州市保健所運営協議会、北九州市食育推進懇話会、福岡県医療団体協議会、福岡県食生活改善協会、福岡県公衆衛生協会など

5. 法人運営・管理

栄養士の重要な意思決定会議および主要な法人事業の日程は次のとおりである。

- ・総会 5月31日（土）、パピヨン24 西部ガスガスホール
- ・栄養士大会 9月23日（火・祭）、ナースプラザ福岡
- ・理事会 4月19日（土）、6月28日（土）、8月7日（木）18：30～21：00、10月18日（土）、12月13日（土）、3月7日（土）